

株式会社フュージョンシス
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-11-1
キョウワクリエイト第一ビル 3F
<http://fusionsys.com/> | info@fusionsys.com



MouseRecorder 説明書

株式会社フュージョンシス

文書バージョン	日付	変更点
Ver.1.0	2007年10月26日	作成

目次

1.	はじめに.....	1
2.	機能概要.....	1
3.	設定.....	1
3.1	シーケンスの作成.....	1
3.2	「マウスクリック」の設定.....	2
3.3	「テキスト入力」の設定.....	3
3.4	「数字読み取り」の設定.....	3
3.5	「ウェイト」の設定.....	3
3.6	「条件式」の設定.....	4
3.7	基準ウィンドウの設定.....	4
3.8	クリック位置の設定.....	5
3.9	数字読み取り領域の設定.....	7
3.10	条件の設定例.....	8
4.	設定例.....	10
4.1	シーケンスを作成.....	10
4.2	検索キーワードの入力.....	11
4.3	検索ボタンのクリック.....	12
4.4	検索結果の表示ウェイト.....	13
4.5	最上位サイトの選択動作.....	13
4.6	実行.....	14

1. はじめに

本文書は、MouseRecorder の使い方についての説明書です。

2. 機能概要

MouseRecorder はマウス/キーボード操作を自動実行するツールです。また、MouseRecorder は以下の機能を有します。

- ・マウスクリック動作の自動実行
- ・キーボード入力(半角英数字)の自動実行
- ・指定領域の数字の読み取り
- ・条件分岐(読み取った数字の値によって、次に実行する動作を分岐させることができます)
- ・各動作の時間間隔の設定

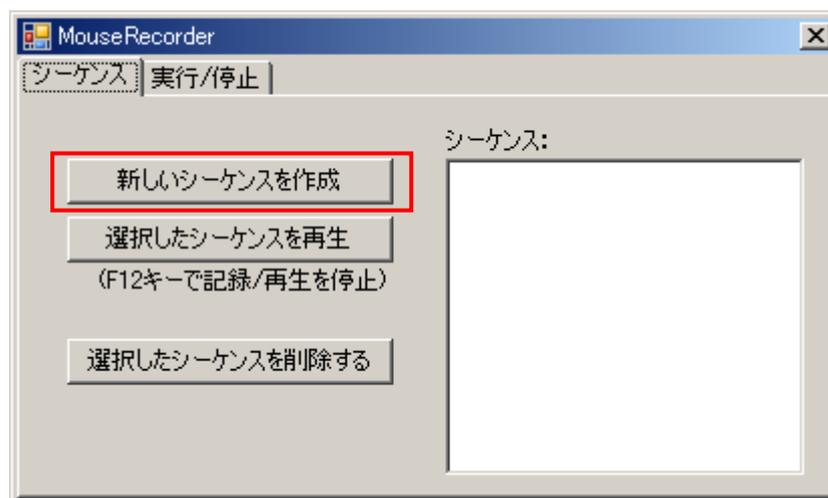
3. 設定

本章では、MouseRecorder の各動作の設定方法について説明します。

3.1 シーケンスの作成

MouseRecorder では、一連の動作をシーケンスという単位で扱います。そのため、一連の動作を設定する際には、最初に、シーケンスを作成する必要があります。

シーケンスの作成は、MouseRecorder の起動画面から、「新しいシーケンスを作成」ボタンを選択することで行います。



「新しいシーケンスを作成」ボタンを選択すると、以下のダイアログが表示されます。このダイアログから、シーケンスの名前やシーケンスを構成する各動作の設定と追加を行います。

シーケンス設定

シーケンス名:

動作:

番号	名前	イベント	詳細

上に移動

下に移動

削除

イベントの追加:

OK キャンセル

3.2 「マウスクリック」の設定

シーケンス設定ダイアログから「クリック」ボタンを選択すると、以下のダイアログが表示されます。ここで、イベント名(この動作の名前)と、基準ウィンドウ(ここでウィンドウを指定すると、クリック位置がこのウィンドウを基準として相対位置になります)、クリック位置、クリック動作を設定し、「OK」ボタンを選択すると、マウスクリックの動作をシーケンスに追加することができます(基準ウィンドウ/クリック位置の設定は、3.7と3.8で説明します)。

マウスクリックイベント

イベント名:

基準ウィンドウ:

クリック位置:

クリック動作: ▼

OK キャンセル

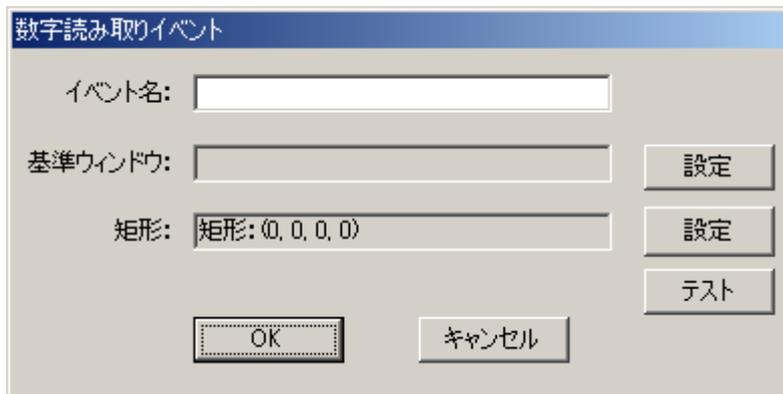
3.3 「テキスト入力」の設定

シーケンス設定ダイアログから「テキスト」ボタンを選択すると、以下のダイアログが表示されます。ここで、イベント名(この動作の名前)と、基準ウィンドウ(ここでウィンドウを指定すると、テキスト入力位置がこのウィンドウを基準として相対位置になります)、位置(入力テキスト位置)、入力するテキストを設定し、「OK」ボタンを選択すると、テキスト入力の動作をシーケンスに追加することができます(基準ウィンドウ/クリック位置の設定は、3.7 と 3.8 で説明します)。



3.4 「数字読み取り」の設定

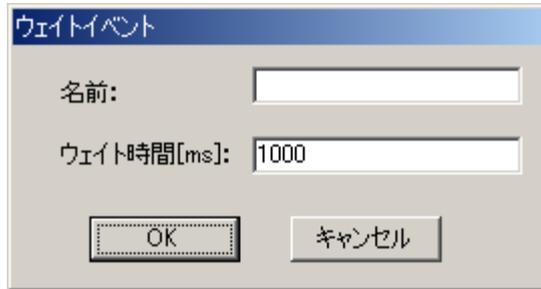
シーケンス設定ダイアログから「数字読み取り」ボタンを選択すると、以下のダイアログが表示されます。ここで、イベント名(この動作の名前)と、基準ウィンドウ(ここでウィンドウを指定すると、矩形領域がこのウィンドウを基準として相対位置になります)、矩形(読み取る数字の矩形領域)を設定し、「OK」ボタンを選択すると、数字読み取りの動作をシーケンスに追加することができます(基準ウィンドウ/矩形の設定は、3.7 と 3.9 で説明します)。



3.5 「ウェイト」の設定

シーケンス設定ダイアログから「ウェイト」ボタンを選択すると、以下のダイアログが表示されます。ここで、イベント名(この動作の名前)とウェイト時間(待機するミリ秒)を設定し、「OK」ボタンを選択すると、ウ

イベントの動作をシーケンスに追加することができます。



ウェイトイベント

名前:

ウェイト時間[ms]:

OK キャンセル

3.6 「条件式」の設定

シーケンス設定ダイアログから「条件式」ボタンを選択すると、以下のダイアログが表示されます。ここで、イベント名(この動作の名前)と条件式(待機するミリ秒)、条件成立/不成立時の飛び先(動作)を設定し、「OK」ボタンを選択すると、条件分岐をシーケンスに追加することができます。



条件イベント

名前:

条件式: <

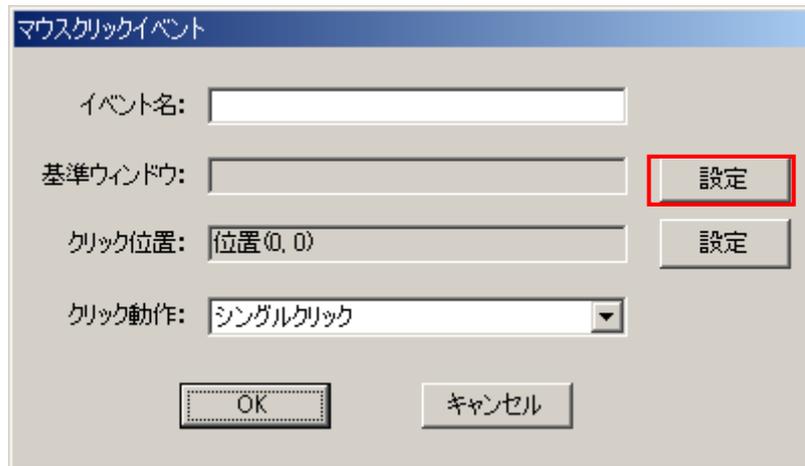
真の場合のジャンプ先:

偽の場合のジャンプ先:

OK キャンセル

3.7 基準ウィンドウの設定

マウスクリック/テキスト入力/数字読み取り設定ダイアログにおいて、基準ウィンドウの「設定」ボタンを選択すると、基準ウィンドウの設定状態になり、ボタンが無効状態になります。



この状態から、基準とするウィンドウのタイトルバーをクリックすると、MouseRecorder のダイアログにそのタイトル内容が表示されます。



基準とするウィンドウの内容が正しく表示されている場合、F12 キーを押し下げ、基準ウィンドウ設定状態を解除します(解除されるとボタンが有効化されます)。正しく表示されていない場合、再度基準ウィンドウ(ウィンドウのタイトル領域)を選択し、表示内容を確認します。

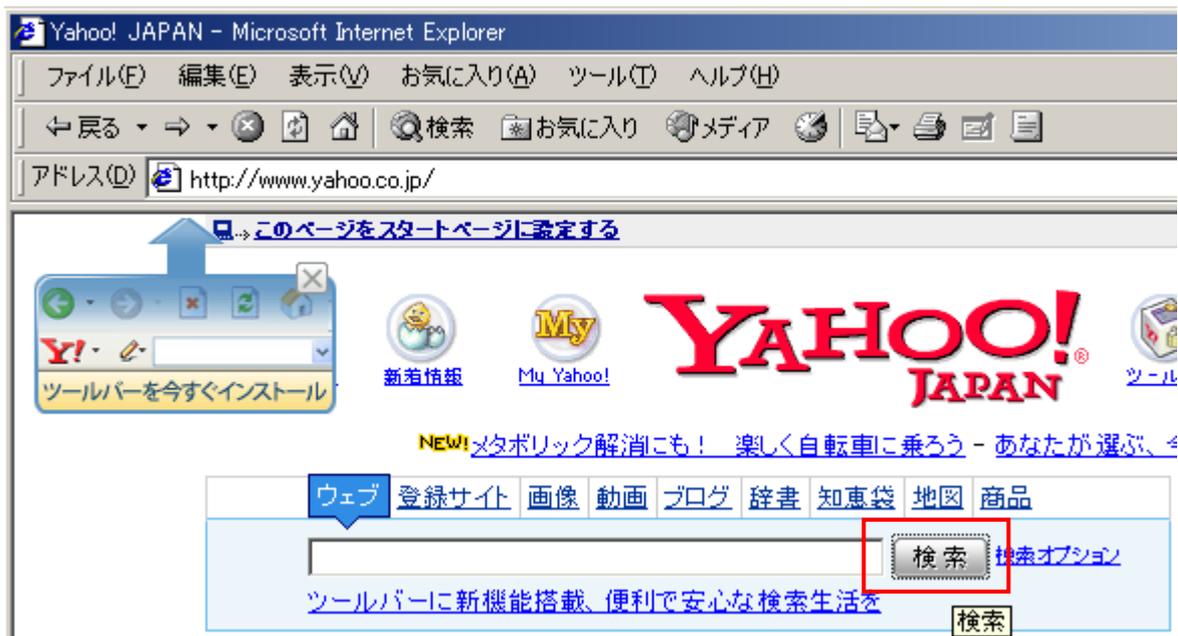
3.8 クリック位置の設定

マウスクリック/テキスト入力動作設定ダイアログにおいて、クリック位置の「設定」ボタンを選択すると、ク

リック位置設定状態になり、ボタンが無効化されます。



この状態からクリック位置を実際にクリックすると、MouseRecorder のダイアログにそのクリック位置が表示されます(基準ウィンドウが設定されていない場合には画面の左上を基準として絶対位置、基準ウィンドウが設定されている場合には基準の左上を基準として相対位置が表示されます)。

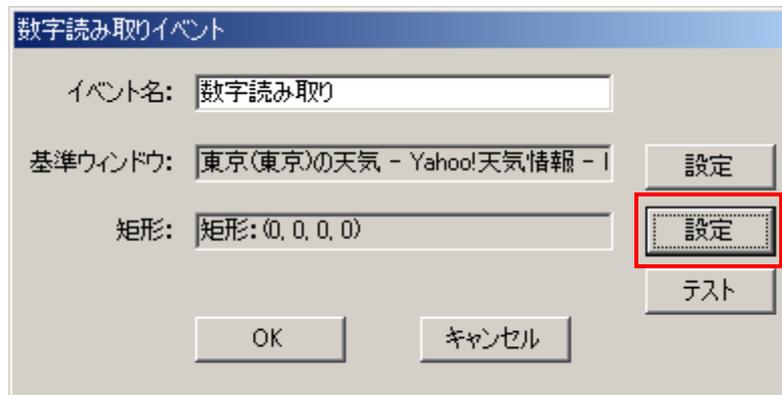




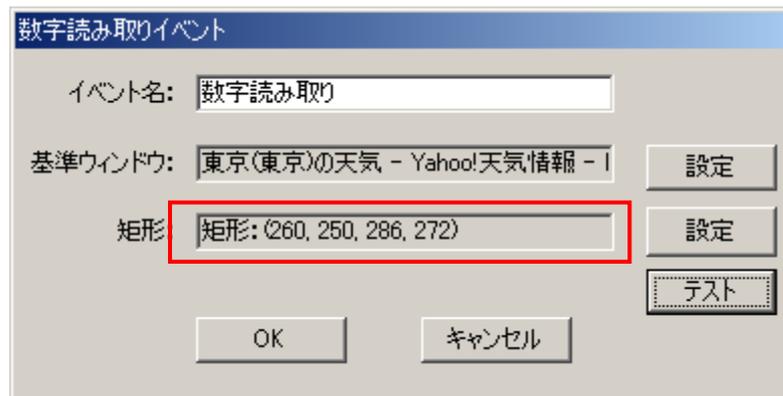
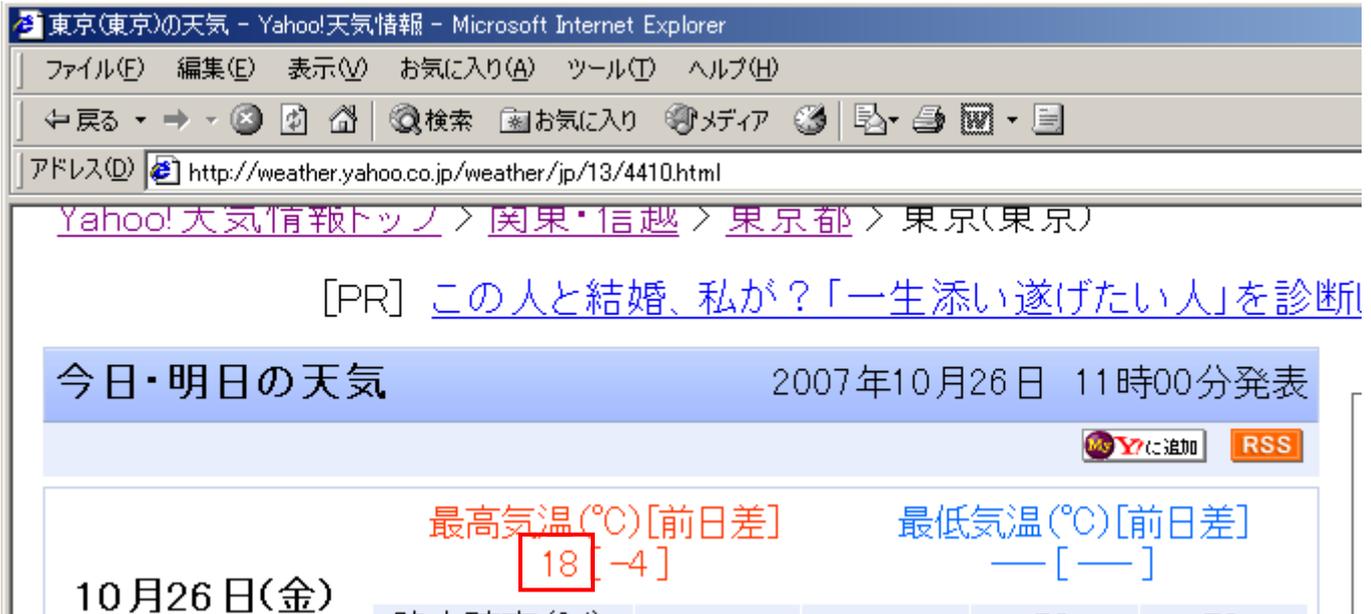
クリック位置が正しく表示されている場合、F12 キーを押し下げ、クリック位置設定状態を解除します(解除されるとボタンが有効化されます)。正しく表示されていない場合、再度クリック位置をクリックし、表示内容を確認します。

3.9 数字読み取り領域の設定

数字読み取り動作設定ダイアログにおいて、クリック位置の「設定」ボタンを選択すると、クリック位置設定状態になり、ボタンが無効化されます。



この状態から読み取る数字を含む矩形の左上と右下の2点をクリックすると、MouseRecorderのダイアログにその2点のクリック位置が表示されます(基準ウィンドウが設定されていない場合には画面の左上を基準として絶対位置、基準ウィンドウが設定されている場合には基準の左上を基準として相対位置が表示されます)。



「テスト」ボタンを選択すると、正しい矩形領域が選択されているか、数字を読み取れるかのチェックを実行することができます。正しく読み取れている場合は矩形領域内の値、読み取れていない場合は、恐らく値として"0"が表示されます。



3.10 条件の設定例

以下のようなシーケンスにおいて、気温の読み取り結果(番号 3)に応じて分岐させたい場合、条件の動作をシーケンスに追加します。

シーケンス設定

シーケンス名: シーケンス1

動作:

番号	名前	イベント	詳細
0	クリック1	クリック	座標(375, -8)、動作
1	ウェイト1	ウェイト	時間:1000 [ms]
2	クリック2	クリック	座標(643, 412)、動作
3	気温読み取り	数字読み取り	矩形:260, 251, 284

イベントの追加:

以下の条件分岐の設定は、気温読み取り(番号 3)の値が 20 を超える場合、クリック 1 を次の動作として行い、20 を超えない場合、クリック 2 を次の動作として行う条件分岐を示しています。

条件イベント

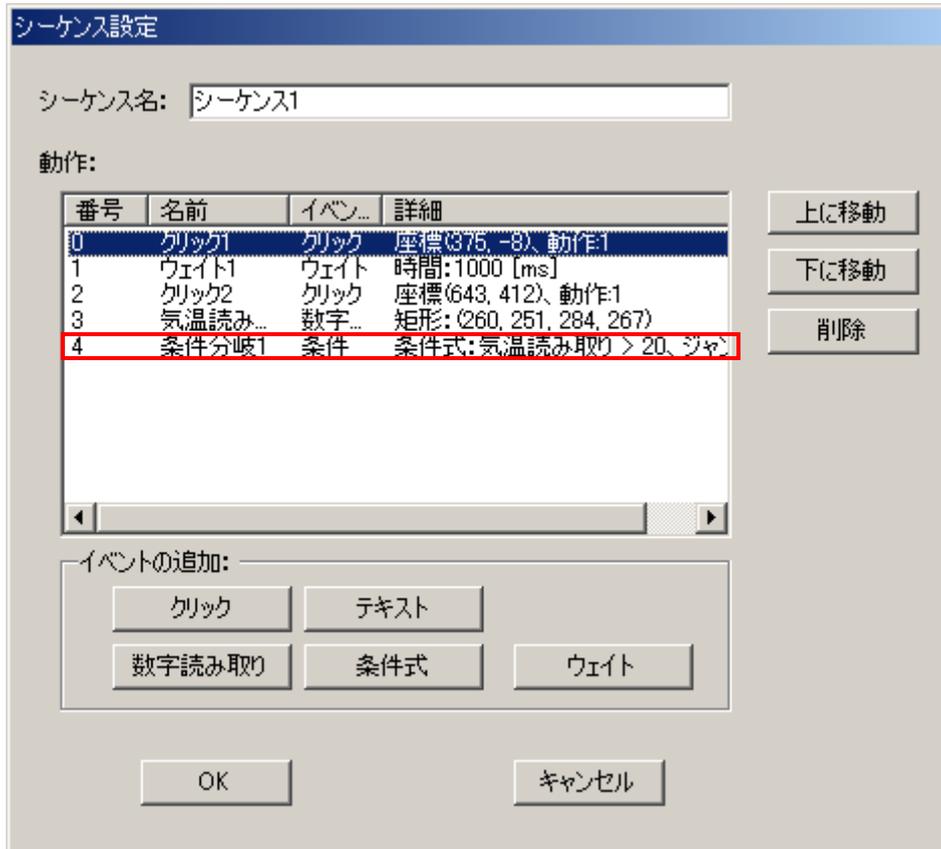
名前: 条件分岐1

条件式: 気温読み取り > 20

真の場合のジャンプ先: クリック1

偽の場合のジャンプ先: クリック2

「OK」ボタンを選択すると、条件分岐がシーケンスに追加されます。



4. 設定例

ここでは、「Google のトップページからキーワードを入力し、検索結果を表示し、最上位のサイトを表示する」動作の設定例を説明します。

4.1 シーケンスを作成

MouseRecorder の起動画面から「シーケンス作成」ボタンを選択し、シーケンス設定ダイアログを表示します。ここでは、シーケンス名として、「テスト 1」を設定します。



シーケンス設定

シーケンス名:

動作:

番号	名前	イベント	詳細

上に移動
下に移動
削除

イベントの追加:

クリック テキスト
数字読み取り 条件式 ウェイト

OK キャンセル

4.2 検索キーワードの入力

検索キーワードを入力するために、「テキスト入力」動作をシーケンスに追加します。

イベント名: キーワード入力

入力テキスト: test

基準ウィンドウ: Google を開いているウィンドウのタイトルを選択

位置: Google の検索ボックス上をクリック



テキスト入力イベントの設定

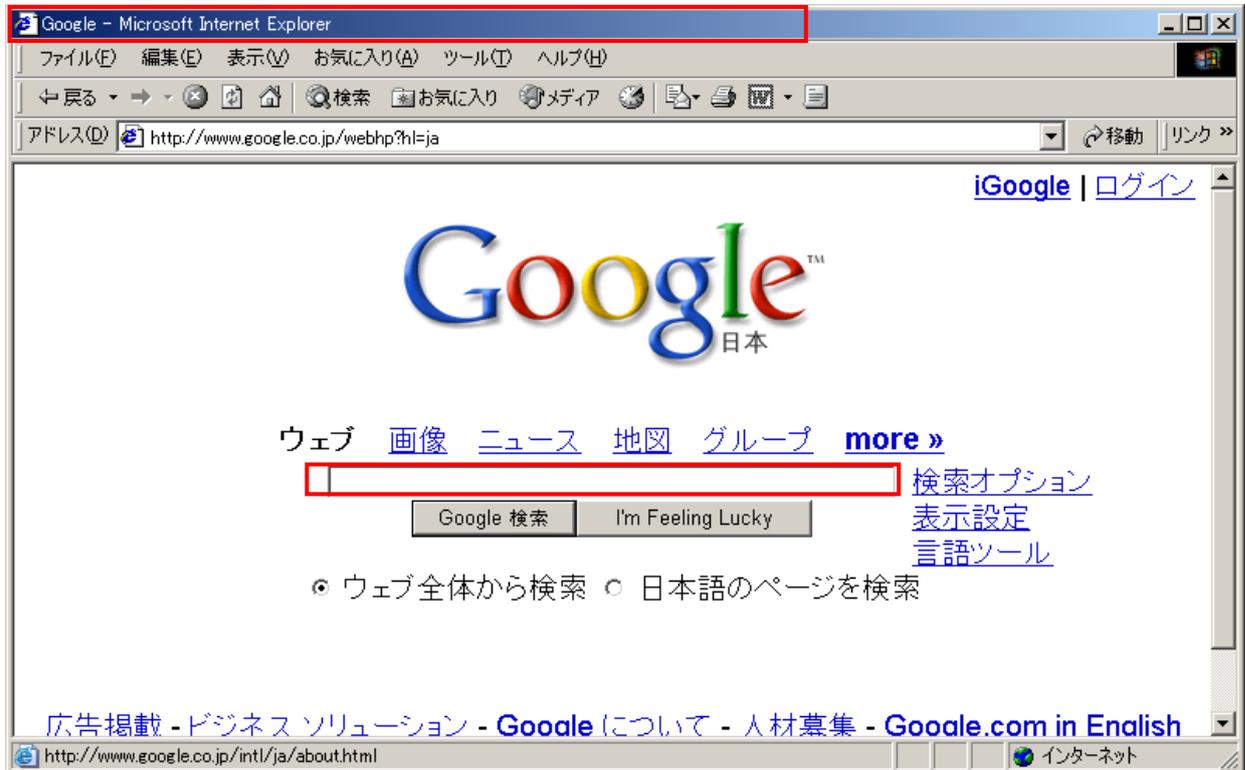
イベント名:

基準ウィンドウ:

位置:

入力テキスト:

OK キャンセル



4.3 検索ボタンのクリック

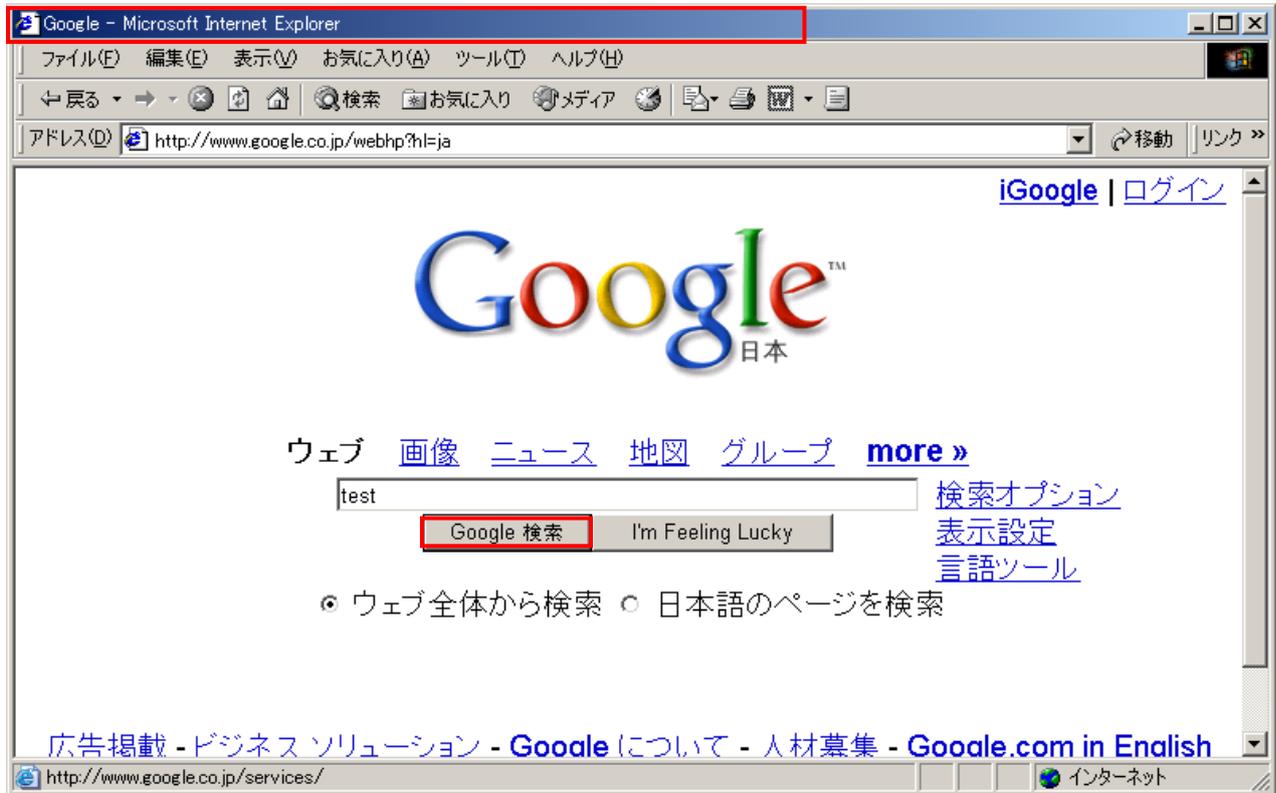
検索を実行する「Google 検索」を選択するクリック動作をシーケンスに追加します。

イベント名: 検索クリック

基準ウィンドウ: Google を開いているウィンドウのタイトルを選択

位置: 「Google 検索」ボタンを選択

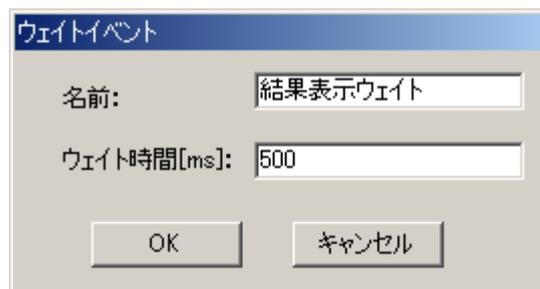




4.4 検索結果の表示ウェイト

検索結果が表示されるまでのウェイト動作をシーケンスに追加します。

イベント名: 結果表示ウェイト



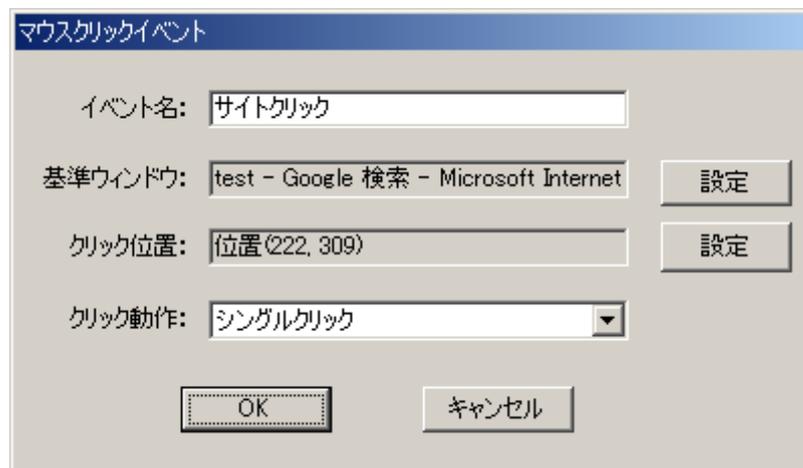
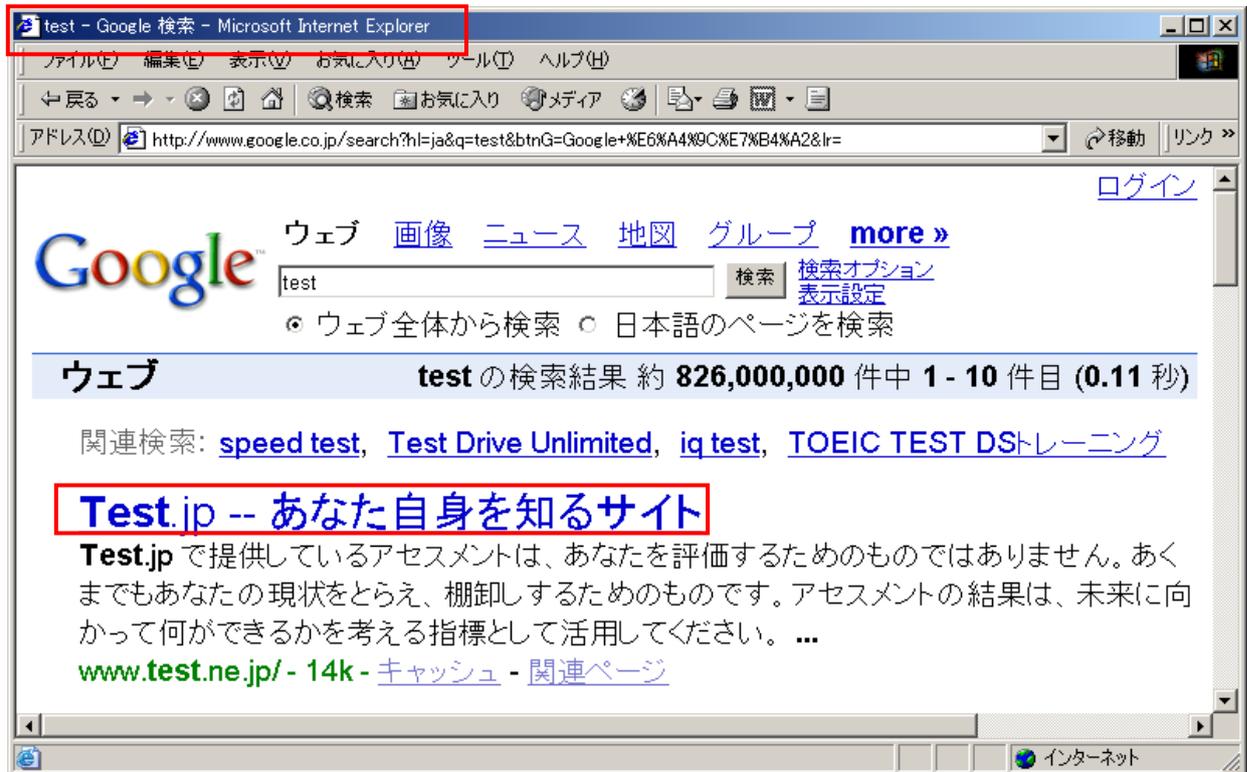
4.5 最上位サイトの選択動作

最上位に表示されたサイトを選択するクリック動作をシーケンスに追加します。

イベント名: サイトクリック

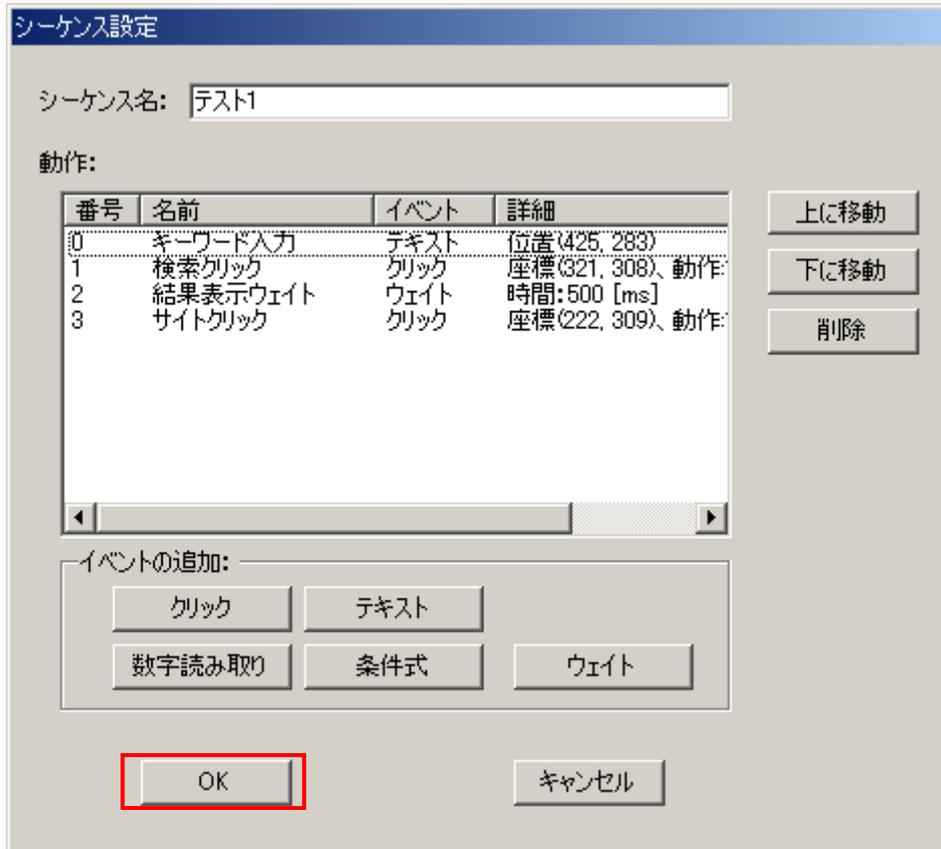
基準ウィンドウ: Google を開いているウィンドウのタイトルを選択

位置: 最上位サイトの文字列上

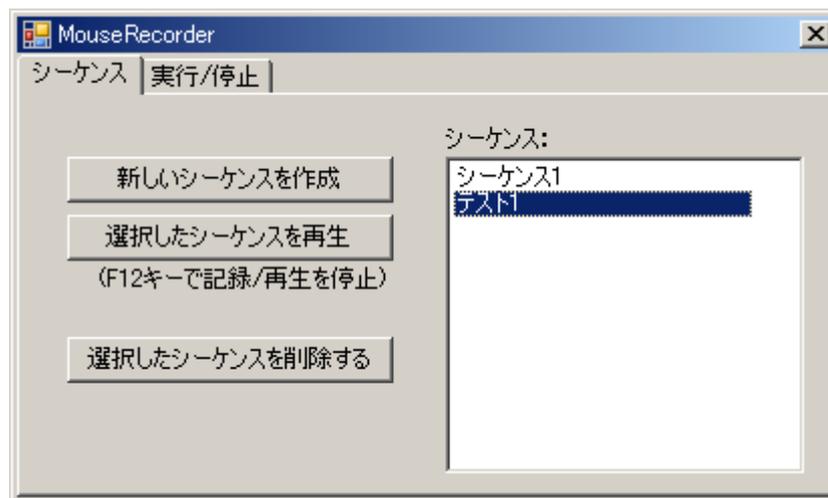


4.6 実行

シーケンスダイアログから「OK」ボタンを選択し、シーケンスの作成を完了します。



MouseRecorder の起動画面から、「テスト1」を選択し、「選択したシーケンスを再生」を選択すると、作成したシーケンスが繰り返し実行されます。



以上